

税と選挙に関する出前授業を実施しました



出前授業の様子



生徒たちは授業では聞けない貴重なお話に集中して聞いていました。



本番と同様の応援演説を聞かせていただきました。



手元の iPad を使って実際に投票を行う生徒たち



最後に行われた○×問題では投票の原則を詳しく教えていただきました。



生徒たちは有権者として、様々な問題を自分のこととして捉えることが大切であると学びました。

～生徒のお礼と感想～

- 投票率が20代よりも10代の方が高い事実を知り、現在の10代の世代が20代になった時の投票率が現在以上に高くなるように、自分たちの年代のための最適な政策になるように積極的に選挙へ参加したいと感じられました。ありがとうございました。
- 選挙について18歳になった今でも身近に感じる事ができていなかったのですが、選挙について考える良い機会になったと思う。消費税の増加・レジ袋有料化などの政策も選挙で選ばれた代表者によって行われているということを知り、選挙の効果は大きく、自分の望む世界を作りたいのであればやはり選挙に行く必要があるということがわかった。受ける前よりも選挙に行ってみたくなった。
- これから選挙を投票するにあつたての注意事項ややり方を知ることができました。選挙に対する意識も少し変わり、自分の投票の重みなどを実感しました。知識を増やすことができました。出前授業ありがとうございました。
- 選挙率が高い層に投票してもらうために意見を変える候補者は嫌だと思いました。今現在、投票率が低くても未来のためにメリットがある考えを持ち、訴えてくれる候補者がいればいいなと思います。
- 今回講演を聞き選挙にはやはり行くべきだと思いました。選挙についてはある程度知っているつもりでしたがまだまだ知らないことがたくさんあったので本日はとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 自分は保土ヶ谷区の明るい選挙推進協議会が主催する「バンドバトル」というイベントに出場し、選挙特別賞を受賞したこともあったので、今回の講演会でバンドバトルのイベントと重なるところがあつて改めて選挙の重要性を知れました。
- 社会科で一票の格差という言葉はよく目にしますが実際にデータで言われると確かに私たちの一票に重みがあるんだということを実感できました。私たち若者の世代が投票しないと政治も良くなりません、そのことを念頭に来年から選挙に行こうとおもいます。
- 税は私たちが普段利用している道路や公園に整備などにも使われており、税にも約50種類もあることを初めて知りました。講座を受ける前よりも税をより身近に感じるようになりました。

●税金の種類や用途、また徴収法などについて知れた。政治に関する悪いニュースが最近多いので税金ってほんとに大丈夫なの？という不安があったが、基本的には制度としてよく考えられている良いものだと今回の講演で認識できました。

●税の種類が多くあるということは知っていたが、50種類ほどもあるということは知らなかったため、驚きと同時に学びになった。

今回の租税教室だけでは税に関して完全に学ぶことはできなかったが、税というものについてもっと自分で深めていきたいなと感じた。

●私が思っていたよりも税の種類が多いことに驚きました。また、まだ働かないので所得税はあまり関係がないと思って生かしたが、選挙に行かないと若者に不利な政策が行われてしまうことがあるなど改めて選挙の大切さを知れたとおもいました。

●消費税が増税になって、税金って本当にいるのかなと思ったことがあったのですが、今日のお話を聞いて、税金の大切さを知ることができました。ありがとうございました。

●一口に税と言ってもその種類が50もあるということに驚いた。税によって異なる率で徴収されていて、様々なパターンがあるということが分かった。用途によってはどのようなスタイルで徴収するのがベストであるのか答えが出ていないものもある。

●税の種類が多さや様々な税の使い道について知ることができました。今後の税の使い道を考えてゆくために、選挙の必要性がよく分かりました。
ありがとうございました。